

2. 景観重要建造物・景観重要樹木の指定の方針

現状

【現状】

○景観計画には、景観重要建造物・景観重要樹木の指定実績はない。

見直しの方向性

○景観重要建造物・樹木の指定の方針や、要件は見直さず、地域景観資源を発掘する活動等を支援できるよう、第6章計画の推進、管理、市民等の協働による景観づくりの中で検討する。

現行計画の記載事項

景観重要建造物・景観重要樹木の指定の方針

景観重要建造物及び樹木については、地域景観資源に登録されたもののうち指定することが望ましいもの、または所有者が指定を希望するもののうち一定の要件を満たすものを指定していきます。

指定に際しては所有者の意見を聞いた上で、町田市景観審議会の審議を経て、指定します。

【登録の要件】

- 周辺地域の景観を特徴づけ、地域のシンボルとなっているもの、または将来的になる可能性のあるもの
- 適切な保全育成が期待できるもの
- 道路その他公共の場所から容易に見ることができるもの
- 公益上支障がないもの
- 所有者の同意、近隣の概ねの理解が得られるもの

3. 景観重要公共施設

現状

【現状】

○現行の町田市景観計画では、①薬師池公園、②小野路宿通りの一部、③町田駅前通りの一部、の3つを景観重要公共施設に位置づけ、整備に関する事項を定めている。

○2021年12月に、多摩都市モノレール町田方面延伸ルートが選定された。町田市都市づくりのマスタープランでは、同ルートを市の中央部を貫く交通基盤及び交通サービスを形成する軸として「都市骨格軸」として位置づけており、モノレールの導入空間となる都市計画道路の整備も含め、今後の町田市の景観形成上重要な公共施設となる。

○現在検討が進められているモノレール沿線まちづくり構想のなかで検討されているモノレール延伸後を見据えたまちづくりの方向性と整合を図りながら、景観づくりの方向性を示す必要がある。

見直しの方向性

○<景観重要公共施設に位置付ける公共施設についての考え方>の見直しは行わない。

○3つの景観重要公共施設の記載は、現状の取り組み状況を踏まえて時点修正を行う。

○薬師池公園については、2020年4月開園した薬師池西公園を範囲に加え、記載事項を追加する。

○多摩都市モノレールの町田方面延伸に伴い、その導入空間となる道路及び駅等のモノレール施設について景観的な考え方を持つ必要がある。

○多摩都市モノレールの延伸ルートが選定された段階であり、景観重要公共施設に指定するコンディションに至っていないため、「今後の指定の考え方について」として、景観づくりの考え方を示す。

現行計画の記載事項

景観重要公共施設

景観計画区域内にある道路や河川、公園等の公共施設のうち、多くの市民に親しまれ、町田市の景観づくりにおいて特に重要な施設を、景観重要公共施設として位置づけます。

景観重要公共施設に位置づけたものは、景観重要公共施設の整備に関する事項を定め、地域の街づくり活動やその他の市民活動、沿道の景観づくりの誘導などと連携して良好な景観の形成を図ります。

以下の考え方に沿って、景観重要公共施設を定めます。

<景観重要公共施設に位置付ける公共施設についての考え方>

- (1) 景観形成誘導地区内にあり、地区の景観づくりに不可欠な公共施設
- (2) 地域景観資源に登録されたもので、良好な景観づくりに不可欠な公共施設
- (3) 町田市の代表的な眺望を有する場所
- (4) 町田市の景観づくりにおいて重要な公園、道路、河川

景観重要公共施設として位置付ける施設は以下のとおりです。

また、上記の考え方に沿って管理者と協議を行いながら、順次、追加していきます。

(1) 景観重要都市公園・景観重要道路の指定

トピック

薬師池西公園（町田薬師池公園四季彩の杜西園）

- ・2020年4月、薬師池公園に隣接して薬師池西公園（町田薬師池公園四季彩の杜西園）がオープン。園内には、農産物直売所、カフェ・レストラン、体験工房、芝生広場が整備され、町田市の主要な観光拠点となっている。
- ・薬師池公園や西園を含む一帯は、「町田薬師池公園四季彩の杜」として位置づけられている。
- ・町田薬師池公園色彩の杜西園ウェルカムゲートの公園および複合拠点施設は、起伏を活かしたデザインや、エリア一体のブランディング等が評価され、2020年度にグッドデザイン賞を受賞した。



新しく整備された西園



色彩の杜

具体的な見直し（案）

① 薬師池公園及び薬師池西公園（現行の記載事項に下線部分を追加）

薬師池公園は、二次的自然を維持しながら、地域で育まれた暮らし方や地域の歴史を継承し、谷戸の地形や里山文化を特徴づける町田市を象徴する公園です。薬師池を中心として、桜や花しょうぶ、大賀ハスなど多くの花々が観賞できる静かな和風の公園として、市民や多くの来訪者に親しまれています。公園内には、国指定重要文化財である旧永井家住宅、都有形文化財である旧荻野家住宅が移築保全され、公開されています。



薬師池

また、市では薬師池公園及び周辺の町田リス園、町田ぼたん園、自由民権資料館、七国山緑地保全地域などを含む一帯を「町田薬師池公園四季彩の杜」と名付け、魅力向上に取り組んでいます。



薬師池西公園

2020年4月には、薬師池公園に隣接する薬師池西公園（以下、西園と言う。）がオープンしました。西園は起伏のある地形を活かし緑豊かな丘陵地の眺望が望める場所や薬師池四季彩の杜の玄関口となるウェルカムゲート等が整備されるなど、薬師池公園と一体となった公園として、丘陵地の地形やみどりを活かしたまとまりのある景観を創り出しています。

薬師池公園及び西園は、町田薬師池公園四季彩の杜の中心的な施設として、景観重要公共施設に位置づけます。薬師池公園及び西園の整備にあたっては、同公園の良好な景観を維持し、より親しまれる公園とするため、公園の整備や公園内に設置される施設は、各公園の役割やコンセプトを踏まえ、周辺の環境と調和したものとするものとします。

薬師池公園及び西園を基点とし、周囲の風致地区や七国山との一体的な景観の維持と創出を目指します。

② 小野路宿通り（都道156号線）の一部、③ 町田駅前通り（町3・4・39号線）の一部

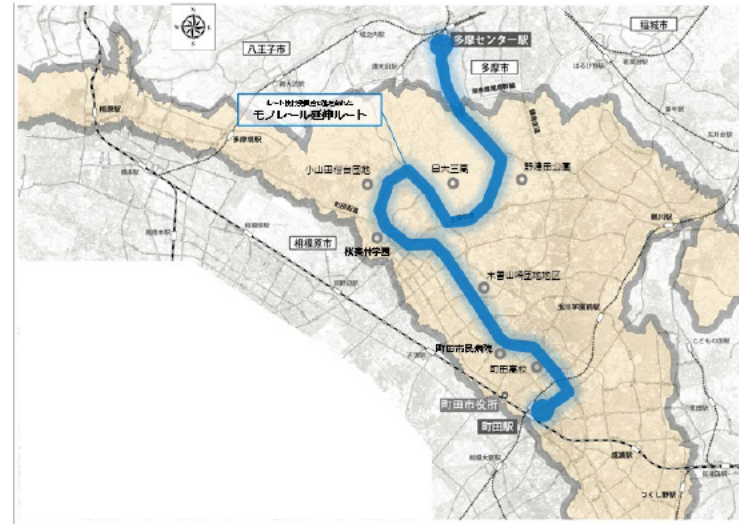
小野路宿通り（都道156号線）の一部、町田駅前通り（町3・4・39号線）の一部は、部分的な時点更新のみで大きな見直しを行わないため省略

(2) 今後の景観重要公共施設の指定の考え方

トピック

多摩都市モノレールの町田方面延伸ルート

- ・2021年12月27日に開催された『第4回多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会』において、多摩都市モノレール町田方面延伸ルートが選定された。今後、本格的な整備に向けて協議を進める。
- ・延伸ルートは、多摩センター駅から、市内の北部丘陵、野津田公園、忠生周辺、木曾山崎周辺を通り、町田駅までの約16km。
- ・現在、多摩市と町田市において、モノレール沿線まちづくり構想の検討を進めている。



モノレール延伸ルート

●町田駅周辺 商業地を多機能化・ウォーカブルなまちにするプロジェクト

◇町3・4・11号線（町田駅から芹ヶ谷公園までの区間）

町田駅から芹ヶ谷公園へのアプローチとして、多様な活動や交流が生まれるウォーカブルな通りの実現を目指し、沿道の商業地と一体となって人々が賑わう風景を創出できるように、駅舎の整備や軌道下の空間整備にあたっては、賑わいある歩行空間や滞留空間の形成を目指します。

●木曾山崎団地 住宅地を多機能化するプロジェクト

◇町3・3・36号線（木曾山崎団地周辺）

大規模団地の中を通る路線として、町田市の特徴ある暮らしの風景と一体となった景観づくりの実現を目指し、駅舎の整備や軌道下の空間整備にあたっては、住環境との調和を目指します。

●忠生・北部 みどりと暮らしの関係をつくるプロジェクト

◇町3・4・20号線（小山田桜台団地周辺）

緑豊かな丘陵地を通る路線として、住環境や、生態系や自然地形を保全しながら里山や谷戸の風景と調和した景観づくりの実現するため、駅舎の整備や、軌道下の空間整備にあたっては、連続性のある緑やオープンスペースの配置を目指します。

<全域共通の考え方>

多摩都市モノレール町田方面延伸により整備される駅周辺や、導入空間となる道路については、景観づくりにおいて重要な道路として、周辺環境と一体となった魅力ある空間づくりが求められます。

高架軌道を走るモノレールからは、緑豊かな里山や谷戸の風景、住宅団地や戸建て住宅街などの暮らしの風景、多様な商業施設が集積する賑わいのある風景など町田市の地域特性に応じた多様な街並みを俯瞰でき、それぞれの魅力を活かした景観づくりを行います。

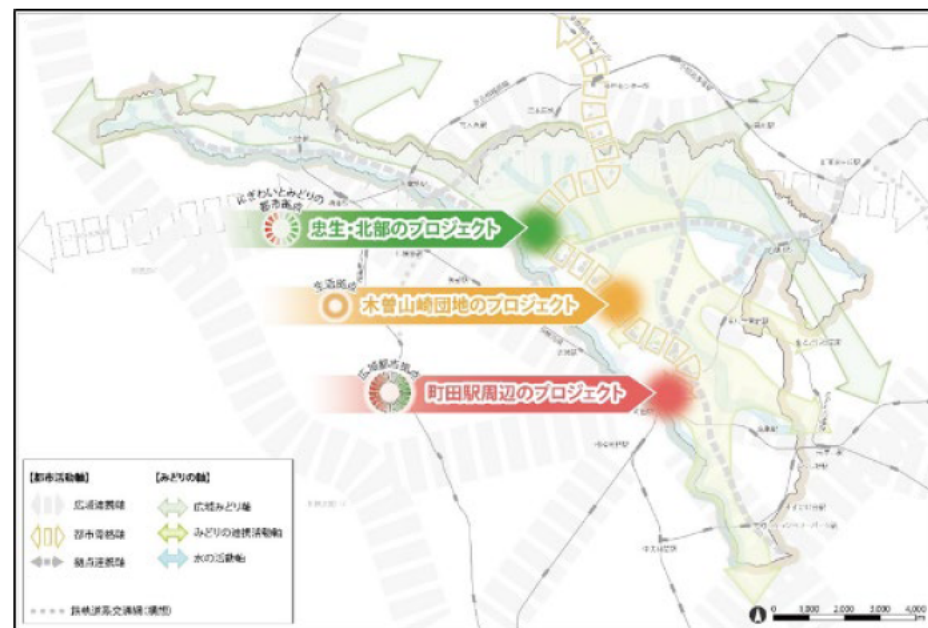
多摩都市モノレール延伸による環境変化を見据えて、モノレール下部や沿道への歩行・滞留空間の形成、連続性のあるみどりやオープンスペースの配置など、多摩都市モノレール沿いの魅力ある景観づくりの実現を目指します。

記載内容（案）

<多摩都市モノレールの町田方面延伸を見据えた景観重要公共施設の指定について>

多摩都市モノレールの路線が都市計画決定された際には、以下の考え方に沿って、景観重要道路として指定することを検討します。

<「町田市都市づくりのマスタープラン」に示す3つのプロジェクトに応じた指定の考え方>



町田市の暮らしをけん引する3つのプロジェクト（「町田市都市づくりのマスタープラン」より）